

都城市立美術館

Miyakonojo City Museum of Art

作者の八木常憲は、1947年に都城市姫城町に生まれました。都城西高校で水流添耕、宮崎大学では辻弘に美術を学んだ後、県立高校などの美術教諭として後進を育てながら自身の制作活動を続けてきました。

空へ向かってすりと伸びる石柱で構成された本作は、木彫が主の八木作品には珍しく、御影石が素材です。霧島連山の高千穂の峰をイメージしたという三角形の姿は、石柱の傾きによって、山同様に見る角度で姿を変えます。

手で直接彫りながら形を決めていく木彫とは異なるものの、マケット(作品模型)を何通りも組み合わせて構想を練ったという本作。作者の「手を動かすことで考える」制作姿勢は一貫しているといえるでしょう。

※本作は市立美術館前に常設展示

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447



八木 常憲 作 (1989年)

History exploration | 歴史探訪!

県内最古の土器(高城町穂満坊・軍神原遺跡)

平成26年、高城運動公園の屋内競技場建設に伴い発掘調査を行った軍神原遺跡。本遺跡では、約1万2800年前の火山灰(サツマ火山灰)の下から、旧石器時代から縄文時代へ移行する時期の土器が出土しました。

この時代の土器が県内で発見されたのは初めてで、広く注目を集めました。出土した土器は非常にしろい上に親指ほどの大きさしかなく、文様などの特徴となるものも確認できませんでした。それでも、出土した地層から県内最古の土器と特定できたことで、都城盆地の縄文時代の幕開けを物語る貴重な資料となりました。



本遺跡から出土した資料は、都城歴史資料館の常設展で展示しています。※土器は資料保護のため令和6年1月31日(水)までの展示です

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

都城市立 伝承館 だより

正安2年6月15日付藤原家泰讓状

「正安2年6月15日付藤原家泰讓状」

都城島津家家臣・本田家が鎌倉時代に、薩摩国山門院(鹿児島県出水市)の領主であった際に作成され、伝来していた本書状。正安2(1300)年6月、藤原(鮫嶋)家泰が、相伝してきた山門院針原村の田畠や荒野を、子息である熊鬼丸へ永久に譲渡することとし、ここに至るまでの関係する証文などは、嫡子である幸寿丸へ譲渡することが記されています。当時、山門院は島津荘であり、本書状は鮫嶋家や本田家のような有力領主たちが島津荘に存在していたことを示しています。また、土地を譲渡するためには、讓状を作成し幕府から認可状を受領する手続きが必要だったことが分かります。約700年前の鎌倉時代にすでに文書による手続きが重要であったことがうかがえる貴重な史料です。

※都城島津伝承館は、展示設備改修のため3月15日(金)まで臨時休館します

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116



九州中央支店宮崎営業所外観

大正12年、高知県高知市旭町で創業した食品卸・小売店「竹内商店」から始まった旭食品株式会社。今年で創業100周年を迎える同社は、総合食品卸業や食品製造業など食のライフラインを支える事業を展開しています。平成30年に本市へ移転開設した九州中央支店宮崎営業所では、現在35人が勤務していて、南九州圏域への出荷を担っています。生活の根幹である「食」を支える企業として地域に密着して歩んでき

「6次産業化の推進や特産品の発信などにおいて当社のノウハウを生かし、地域の発展に貢献したい」と今後の展望を語るのは、石川雅則支店長です。営業部門で長年培ってきた知見やネットワークにより、誰からも頼りがいのある日本一の間屋を目指し、食に関する課題と向き合っています。

「食のおいしさや楽しさをお客様の手に届けることがよるこび。今後は産学官で連携しながら、都城が持つ食の魅力を全国の食卓へ届けたい」と語る石川支店長の瞳には、地域の食文化の発展を支える熱意が輝いていました。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.39

旭食品株式会社
九州中央支店宮崎営業所
☎36-4335



石川雅則支店長

今月の読者プレゼント



乗馬体験(引き馬・丸馬場5周) 3人
プレゼント提供事業者

サウスヒルステーブル(吉之元町5262-73) ☎33-2150

霧島連山の麓にある観光乗馬牧場で、大自然に囲まれながら馬と触れ合ってみませんか。スタッフが手綱を引いてくれるので、初心者でも安心して楽しむことができます。※小学生以上、1人乗りです

プレゼントの応募方法

- はがきに住所、氏名、電話番号と、12月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
- 応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。
- ◎応募締め切り 12月31日(日) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙2月号
- ◎10月号当選者 長友安子さん ほか9人
- ◎10月号応募総数 125通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

63円切手を
お貼りください

8 8 5 8 5 5 5

都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.216 2023年12月号)

フリガナ
氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□

電話番号 () -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

私の夢

ふじおか 藤岡 こうすけ 宏輔さん 今町小6年

プロ野球選手になって
日本一のプレーヤーになりたい!



都城市現住人口

令和5年11月1日現在	前月比	前年比
世帯数 72394世帯	(99)	(515)
人口総数 158235人	(121)	(-496)
男性 74420人	(93)	(-202)
女性 83815人	(28)	(-294)

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



編集後記

育児と仕事で手一杯の友人を見て、母親が負担を強いられている風潮に“風穴”を開けたいとの思いから企画した子育て特集。取材を通じて、多くの支援者を頼もしく思うとともに、1人1人の意識が変わることで時代に合った子育てしやすい社会になると感じました。ご協力いただいた多くの皆さん、ありがとうございました! (奈)

秘書広報課に異動してから毎年撮影していた天の川。今年はコスモスと天の川を1枚の写真に収めるべくチャレンジしましたが、天気はもちろんのこと月の周期やコスモスの開花状況など、もろもろの条件がそろわずチャンスは1日のみ。夜のコスモス畑で粘りましたが、急速に変化する雲に邪魔され叶わずでした。来年こそは! (達)

新型コロナも落ち着きが見られ、小・中学校の恒例行事も徐々に再開してきています。運動会はまだ午前中みの開催ですが、秋の日曜参観日に合わせて実施していた「ふれあいフェスタ」も再開するようです。修学旅行も以前のように遠方に行けるようになり、子どもたちの楽しみが戻ってきたことは親のうれしさでもあります。 (祐)

都城フィロソフィ 20

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第3章 燃える集団となる

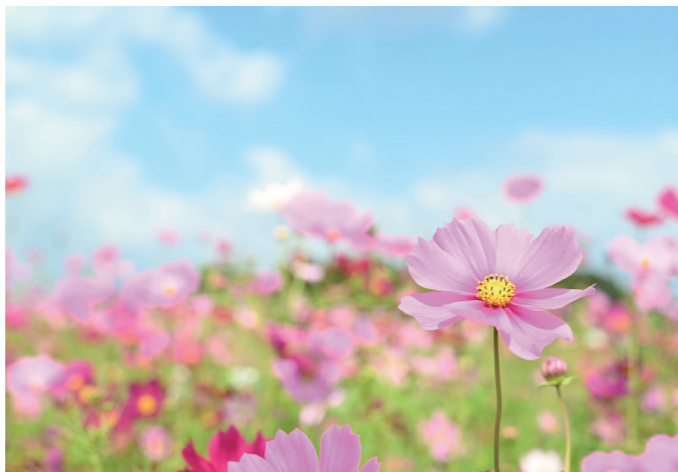
高い目標を持つ

都城市役所は、都城フィロソフィを策定し、さらなる人財育成による組織活性化で、「市民の幸福と市の発展の実現」に取り組んでいます。その中で、「本気で挑戦! 日本一の市役所!」との高い目標を立てました。

高い目標を持つ人は大きな成功を得られ、低い目標しか持たない人はそれなりの結果しか得られませんが、自ら高い目標を設定しパーフェクトを目指そうとすると、そこに情熱と力を注ぐことが可能になり、それが成功の鍵となるからです。

壮大な夢や高い目標を描いてこそ、想像もつかないような偉大なことを成し遂げられます。

届けたい都城の風景



「南部ふれあい広場・コスモス畑」 (大岩田町)



「青井岳自然公園」 (山之口町山之口)

宮崎県は古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの伝説や伝統文化、史跡などが残されています。市内では、例年12月に中郷地区にある「興玉神社」で、高千穂町に伝わる国指定重要無形民俗文化財「高千穂の神楽」を奉納する「都城興玉神社夜神楽大祭」が行われています。今年も、高千穂町の秋元神楽保存会の神楽をはじめ、中郷中学校の吹奏楽部や石井流家元による津軽三味線の演奏、高野原正調安久節保存会によるヤッサ節などが披露されます。また、



一夜限りの氏子直筆御朱印の授与や和風ハンドメイド雑貨の出店が並ぶ御神渡り市など盛りだくさんの内容。夜神楽を堪能できるぜひいたくな一夜。ぜひお越しください!

【都城興玉神社夜神楽大祭 (無料)】
 ◎日時 12月16日(土) 16時~20時
 ◎場所 興玉神社(安久町2955)
 ※中郷地区市民センターとJA都城安久支店からの臨時シャトルバス(無料)を利用ください



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介!

夜神楽で幸せ上々

◎問い合わせ
みやこんじょPR課 ☎23-2615

新刊紹介

おすすめ図書

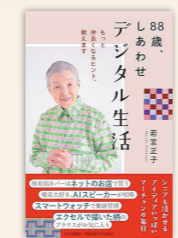
◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



こたつ

麻生知子(作)、福音館書店(出版)

 大みそか、初めての夜更かしを宣言したこうたくん。宿題をせすにごろごろしたり、おせち料理を食べたり。こたつを囲んで家族が新たな年を迎える様子を、真上からの視点で描いています。



88歳、しあわせデジタル生活 もっと仲良くなるヒント、教えます

若宮正子(著)、中央公論新社(出版)

 81歳でプログラミングに挑戦し、デジタルクリエイターとして活動する著者が、老いてこそ味方になるデジタルとの付き合い方を教えます。

【市立図書館】 ●休館日/1月1日
●開館時間/9:00~21:00

【高城図書館】 ●休館日/12月5日・12日・17日・19日・26日・28日・1月4日・8日・9日
●開館時間/9:30~18:00

まちなか de わくわく

みゆな(歌手) × 高石あかり(俳優) トークショー&ミニライブ



今、注目を集める宮崎県出身の2人が「夢・未来への挑戦」をテーマにしたトークやミニライブを行います。

■日時 1月7日(日) 16時30分~
 ■場所 ウエルネス交流プラザ
 ■料金 【前売】一般2千円、学生1500円
 【当日】一般2500円、学生2千円

※未就学児入場可。詳しくは、またちんホームページを確認ください

◎問い合わせ
ウエルネス交流プラザ ☎26-7770





令和5年度 第69回都城市美術展

市美展

都城圏域の芸術文化の向上と情操教育の振興および近隣市町との交流を図るため開催している都城市美術展。今年度は市内外から312点の作品が出品され、市内で美術教室を主宰する五十川和彦さんの「Rain Man I」をはじめ、25点が入賞しました。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447



市美展大賞

「Rain Man I」 五十川 和彦さん



山田新一賞

「生きている証」 黒木 康郎さん



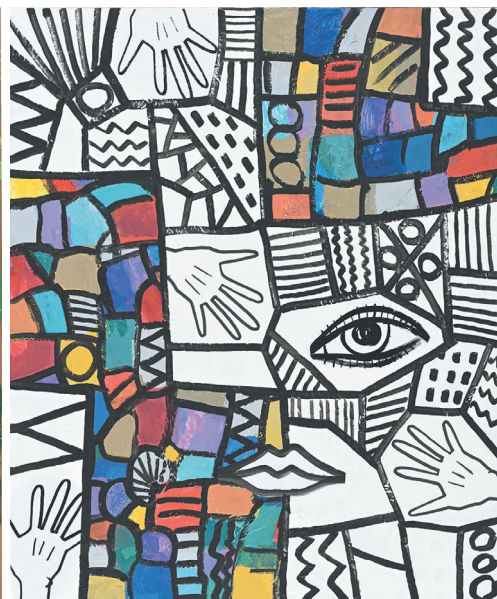
都城市長賞

「生きる」 松下 裕美さん



都城市議会議長賞

「3月 菜の花」 中武 卓さん



都城市教育長賞

「女神の微かな希望・II」 西留 利義さん